

平成 27 年（2015 年）9 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 1 日 目 ）

平成 27 年 9 月 9 日（水）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	高 良 正 幸 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 教育行政について	鏡原中学校改築事業について (1) 鏡原中学校改築の施設概要について伺う (2) 事業スケジュールを伺う
		2 公園行政について	山下町第一洞穴遺跡公園について (1) 山下町第一洞穴遺跡公園の意義とこれまでの経緯を伺う (2) 現在の進捗状況を伺う (3) 今後の施設の活用と管理方法を伺う
		3 交通行政について	自転車の安全利用について (1) 最近数年の自転車事故の概要を伺う (2) 6 月 1 日からの改正道路交通法の施行に伴い、自転車運転者講習制度が始まる。その内容を伺う (3) 自転車保険について伺う (4) 市内の小中学校現場において、自転車の安全利用に関する指導を行っている学校数と指導内容を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成27年9月9日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 自殺対策の 拡充について 2 交通行政に ついて	(1) 本市における自殺者数の推移と特徴。県・国内との比較、諸外国との比較について問う (2) 本市における自殺対策の取り組みについて問う (3) 学校現場での悩みを抱える児童生徒の支援について問う 那覇市立病院から松川にかけての市道で、サンエー食品館真嘉比店前の右折用の車線はあるが、矢印信号などが設けられていないために、右折が大変困難との相談を受けた。黄色や赤信号時に、強引に交差点へ進入しなければならない現状が見られ、改善すべきである。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

平成 27 年 9 月 9 日 (水)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	坂井浩二 (ひやみかち那覇・無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 子ども行政について 2 協働のまちづくりについて	子ども達の健全育成及び安心・安全な子育て環境整備について伺う (1) 幼保連携の新たな形態として認定子ども園がスタートするが、以下伺う ① 従来の受け入れ体制で実行できなかった新たなサービス提供として、どのような充実が図れるか。公私連携型、公立型それぞれのメリットを伺う ② 公私連携型移行に伴う現幼稚園教諭の処遇は、どのようにになるか (2) 認可外保育施設を利用する「ひとり親保育」への支援に対して、さらなる充実を図るべきである。本市内における支援状況はどのようになっているのか (1) 今年度協働のまちづくりの拠点として新たに開所した「市民協働プラザ」の施設活用状況について、以下伺う ① 入居団体の総数と、外部からの利用団体・個人数はそれぞれいくらか伺う ② 駐車場の運用状況はどうなっているか ③ これまでの会議室の利用状況はどうなっているか (2) 市民協働プラザの活用策として児童・生徒の学習支援も行うべきであると考えているが、当局の見解を伺う (3) 那覇北・新港周辺地域への生涯学習施設としての拠点整備は、今後の計画としてどうなっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 中心商店街活性化と利活用について	平和通りにおいてトイレの貸し出し及び観光情報の発信拠点として開所したまちぐわー案内所「ゆっくる」について、以下何う (1) 「ゆっくる」開所に伴うこれまでの利用効果及び今後の課題を伺う (2) 高齢化社会に伴う、お年寄りにやさしいまちづくりが求められる。いわゆる買い物弱者対策、例えば買い物代行サービス等の連携施設として「ゆっくる」を活用してはどうか、当局の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 27 年 9 月 9 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 国保行政について	(1) 2018 年度の県単位化実施が、現状と変わらない、あるいは市町村と国保加入者の負担増になるような仕組みになってはならない。制度設計に対する本市の見解を問う (2) 今回の保険者支援制度の財政支援拡充策で、本市にいくら交付されるか。また、支援拡充後の本市の国保財政はどうなるのか (3) 現状の保険税率で、均等割は同居家族が多い低所得者ほど保険税負担が重くなっている。国保加入者で、夫婦子供 2 人、給与収入 300 万円の世帯の税額と負担率を問う
		2 住宅リフォーム助成制度について	(1) 住宅リフォーム助成制度の実施を提案してきたが、現在の検討状況を問う (2) 住宅リフォーム助成制度については、政府の新型交付金「地域消費喚起・生活支援型」を活用している自治体があった。本市の同交付金の事業採択の考え方はどうであったか。見解を問う
		3 地域排水路について	(1) 認可保育園、あさひ保育園に隣接する排水路は、以前にも改善するよう指摘したが、その後の対応を問う (2) この排水路は、南風原町とあさひ保育園の境界にある排水路の、雨水のほとんどは南風原町側から流れ込む。しかし、排水路の断面が小さすぎるために、たびたび氾濫し不安を与えている。保育園の建て替えを機に、排水路の改善の要望があるが、対応を問う
		4 環境保全対策について	識名霊園の周辺地域で、清明祭や七夕のお墓掃除で出されるごみの対策と、不法投棄や放置車両についての対策を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 27 年 9 月 9 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	奥 間 亮 (自 民 党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 子どもの貧困対策について 2 那覇空港滑走路増設事業について 3 バリアフリー化の推進について 4 少年補導活動の推進について 5 特別支援学校の設置について	(1) 「子どもの貧困問題」への対策をさらに推進すべきである。本市は「こどもの貧困問題」に対して、これまでどのような対策を行ってきたのか。また、今後はどのような対策を行っていくのか伺う (2) 貧困の負の連鎖を断ち切るための対策、教育支援、学習支援等に力を入れて、充実させるべきである。見解を伺う (1) 「2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会」開催を見据え、那覇空港第二滑走路を工期内に完成させ、早期供用開始を実現させるよう那覇市からも強く要請すべきである。見解を伺う (2) 滑走路増設事業について、現場での工事環境はいかがか伺う 本市も「バリアフリー基本構想」を策定し、重点整備地区等を定める等、さらにバリアフリー化を進めるべきである。見解を伺う 子ども達が事件・事故に巻き込まれることを防ぐため、本市も少年補導活動にさらに協力して取り組むべきである。見解を伺う 本市には、知的障がいを持つ児童生徒等が通う特別支援学校がない。よって那覇市の 300 名以上の児童生徒が、他の市町村にある特別支援学校に通っているという実態がある。これは特別支援学校の定員 2 校分に相当する生徒や保護者の負担を軽減するためにも、このような特別支援学校を本市に設置すべきである。見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 SNSを活用した事件・事故防止、安心・安全な街づくりの推進について	行方不明者の手配情報をSNSで共有する等、県警と連携し、本市はSNSを活用した事件事故防止、安心安全なまちづくりを推進すべきである。見解を伺う
		7 北朝鮮による拉致問題について	警察庁が公表している「北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案に係る方々」は877名おり、そのうち沖縄県には32名の行方不明者が把握されている。その中には那覇市民も多くいる 拉致問題や特定失踪者、行方不明者の情報に関する担当課を定め、広報活動など拉致問題解決に寄与する取り組みを推進すべきである。見解を伺う
		8 多子世帯への保育政策の充実について	多子世帯(子どもの多い世帯)への子育てに係る負担をできるだけ軽減し保育政策を拡充すべきである。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 27 年 9 月 9 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 生活保護の住宅扶助(家賃)について 2 教育行政について 3 健康なは 21 (第 2 次) について 4 特別養護老人ホームについて 5 中心市街地活性化基本計画について	(1) 生活保護の住宅扶助(家賃)の上限が 7 月から引き下げられた。その概要について問う (2) 住宅扶助(家賃)については、厚生労働省が示した経過措置の「通達」に基づいた対応が必要である。当局の見解を問う 小・中学校のクーラー設置の進捗状況について問う 那覇市の健康課題と対策について、当局の見解を問う 地域密着型・特別養護老人ホームの取り組みのスケジュールについて問う 中心市街地活性化基本計画での牧志公設市場の位置づけについて問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（１日目） 平成 27 年 9 月 9 日（水）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	栗 國 彰 (自 民 党)	1 空き家対策 について	空き家対策特別設置法が施行され、持ち主に管理を促すのが狙いの制度だが、県内は 10 軒の内 1 軒が空き家となっていると調査で分かった 台風で瓦が落ちないか、火事が起きないか、心配はつきもので、放置していると重い賠償責任を負いかねない。例えば、空き家が崩壊し、隣家を押つぶし、住んでいた家族 3 人死亡した場合、損害賠償額 2 億円に上るケースもある また、家、マンション、ビルの外壁が落ち、歩いている人が死亡した場合は、約 5,600 万円請求されることも起きる。放置していると、固定資産税の税収も変わる。空き家を更地にした場合、仮に 1 軒 10 万円の固定資産税が 5 倍の 50 万円となる 危険な空き家対策について伺う
		2 地方創生基本方針について	地方創生基本方針、まち・ひと・しごと創生基本方針 2015 がスタートしている 各自治体は、多様に取り組んでいるかと思うが、プレミアム商品券やプレミアム宿泊券等、各自治体によって違うが、基本方針が掲げた主な政策は、働く場づくり、新たな人の流れ、結婚出産、子育て、地域連携、例えば、観光ブランド、水産業、農業などが加工製品戦略を担う新しい政策も提示しているようである。そこで、本市の新しい政策戦略など伺う
		3 建設行政について	県発注建設工事の最低制限価格、つまり予定価格 70%～90%の見直し、検討の必要性があるという意見が相次ぐようである。理由は、受注した業者の 4 割が赤字となったようである。原因は、人件費や材料費高騰が上げられている 見直しの必要性は、人手不足の解消や安全対策面の経済削減防止などの観点から引き上げを必要と示した、本市 2014 年度事業について伺う (1) 沖縄県が 2014 年度に受注業者へ行ったアンケートについて、何件の事業が赤字であったか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 本市において 2014 年に受注業者が決まらない、つまり、入札が不調となった工事は何件あったか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 27 年 9 月 9 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	下 地 敏 男 (社社市民ネット) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 施政方針について 2 動物愛護行政について 3 N A H A マラソンについて 4 観光行政について 5 市民情報保護について 6 教育行政について	昨年 11 月に城間市政が誕生し、やがて 1 年目を迎える。この間、城間市長は全力で市政運営に取り組んでいる。一年間を振り返ってどのような感想を持つか伺う。 犬、猫の遺棄、虐待をなくし殺処分ゼロにすることは、命を大切にする豊かな心を涵養する。これまで以上の啓蒙は動物愛護行政の推進にとって喫緊の課題である。26 年度の殺処分数と犬、猫に係る予算額について伺う 本年度の応募状況及び運営体制は万全か伺う 国際通りはこれまでにない国内外の多くの観光客でにぎわい、歩道は時間帯によっては肩が触れ合うほど混雑する活況を呈している。国際通り一極集中の感さえする。こうした状況を改善し、ゆったりと観光を楽しむ街づくりが問われている。方策を伺う 本市の情報流出の対策については平成 23 年 12 月議会で質問した。その後年金機構の情報流出が発生、今の情報社会では自治体が有する大量の市民の個人情報の保護に対策強化は最重要課題である。本市はどのような対策があるか伺う 本市の公立小・中学校の敷地内を平日休日昼夜関係なく、授業中でも一般人が通行できる学校はあるか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 本庁舎地下 駐車場利用者 安全確保につ いて 8 協働プラザ 駐車場利用料 金について 9 本市職員の 人事評価制度 導入について	地下駐車場内と隣接する市道での物損事故、 人身事故、床上での転倒によるけが等の件数を 伺う 本年度の駐車場利用状況及び受益者負担の原 則に照らした有料無料についての考え方を伺う これまでの人事評価制度と今回の同制度の相 違点は何か。職員への周知は先に行われた人事評 価研修で十分だと考えるか。職員組合との交渉は 十分になされているか。以上伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長